

三者協働でこれからの授業を  
設計してみよう

～コロナ禍での経験を踏まえて～

E班 岡本、多田、増井、森山、ラズイビン



# SDGsを学び、身近な課題を解決する



(1) 授業種別	演習
(2) 授業概要	<p>この授業では、SDGsについて学びます。</p> <p>授業は大きく3つのパートに分かれており、第1パートではSDGsについてレクチャーを受けて知識を修得します。第2パートでは、授業回ごとに異なる課題でグループワークに取り組み、チームビルディングと協働スキルを身につけます。第3パートでは、各グループで議論・決定したSDGsのテーマに、フィールドワークに取り組み、課題解決を目指します。最後にグループで解決案のプレゼン発表を行います。</p> <p>これら講義、グループワーク、フィールドワーク、プレゼン発表を通して、SDGsについての理解を深め、グループで協力して課題を解決する能力を向上させます。</p>



<p>(3) 学位授与方針との関係 (プログラムポリシー)</p>	<p>① (知識・技能) 学士課程教育の基盤となる幅広い学問的および社会的知識と技能を身に付けることができる。</p> <p>② (思考力・判断力・表現力等の能力) 学部横断型教育プログラムの特徴を活かし、違う視点を持った学生同士が協働的に学ぶことで、「考動力 (自律力、人間力、社会力、国際力、革新力)」を身に付けることができる。</p> <p>③ (主体的な態度) 自らの学びに責任を持ち、直面する課題に主体的に取り組むことができる。</p>
<p>(4) 到達目標</p>	<p>① (知識・技能) SDGsについて説明できる。その知識について、調べてまとめることができる。 フィールドワークを通して、情報収集力を身に付ける。</p> <p>② (思考力・判断力・表現力の能力) SDGsについて自分たちで考え、分かりやすく口頭発表することができる。 自分たちで課題を発見し、解決案を提案できる。 各グループの解決案を実行にうつすことができる。</p> <p>③ (主体的な態度) グループで協力して、解決案を実行できる。 自主的に、社会課題に取り組むことができる。</p>
<p>(5) 授業手法</p>	<p>① 教員による資料等を用いた説明や課題等へのフィードバック ② 学生による学習のふりかえり ③ 学生同士の意見交換 (グループ・ペアワーク、ディスカッション等含む) ④ プレゼンテーション (スピーチ等含む) ⑤ 課題探究 (課題解決型学習等含む) ⑥ フィールドワーク ⑦ その他 ( SDGs のレクチャー )</p>

<p>(6) 授業計画</p>	<p><b>【第1パート：SDGsの知識の修得】</b></p> <p>1回目      オリエンテーション                  2回目      SDGsの講義を受け、知識をつける                  3回目      SDGsの講義を受け、知識をつける                  4回目      SDGsの講義を受け、知識をつける</p> <p><b>【第2パート：チームビルディングと協働スキルの獲得】</b></p> <p>5回目      ミニグループワーク                  6回目      ミニグループワーク                  7回目      ミニグループワーク</p> <p style="margin-left: 150px;">} SDGsの講義を受け、捉えた課題を共有し合い、どの課題やテーマを設定するか決める。チームビルディングも目的としている。 }</p> <p>8回目      中間発表（どのテーマで進めるか、また捉えた課題についてに発表。）</p> <p><b>【第3パート：各グループでフィールドワークに取り組む】</b></p> <p>9回～13回   グループワーク                  10回          フィールドワーク                  11回          フィールドワーク                  12回          フィールドワークのまとめ、課題への解決策を話し合う                  13回          プレゼンの準備                  14回          プレゼン                  15回          総括、振り返り、フィードバック</p>
<p>(7) 授業時間外学習</p>	<p>SDGsの講義で学んだ内容を復習し、SDGsに関連する資料を用いて、各自で予習・復習を行う。必要に応じて、グループで相談し各自フィールドワークを行う。</p>



時配	学習内容と活動	授業中の留意点・評価
導入	前回授業時のフィードバックを行う。 授業のオリエンテーションを行う。	<b>留意点：</b> グループ内で進捗状況を確認し、共有する。
展開	各グループで目標と役割を決め、フィールドワークを行う。	<b>留意点：</b> フィールドワークを行うため、動きやすい服装で来ること。 <b>評価：</b> 積極的にフィールドワークを行っているか。グループに貢献出来ているか。
まとめ	授業の感想や質問、課題等をミニツツペーパーに記入する。	<b>評価：</b> 主体的に授業に取り組んでいるか。

<p>(8) 方法</p>	<p>⑦定期試験を行わず、平常試験（小テスト・レポート等）で総合評価する。</p> <p>授業後課題（ミニッツペーパー・クイズ）：20% レポート課題：20% 授業内プレゼン発表：40%（中間プレゼン15%、最終プレゼン25%） 授業参加度：20%</p>
<p>(9) 基準・評価</p>	<p>①（知識・技能）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・SDGsについて調べてまとめることができたか。（第7回までの授業後課題で評価する）</li><li>・フィールドワークを通して情報集ができたか。（第8回以降の授業後課題で評価する）</li></ul> <p>②（思考力・判断力・表現力の能力）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・SDGsについて、自分達で設定した課題とその解決策を、文章と口頭で伝えることができたか（中間／最終プレゼンと期末レポートで評価する）</li></ul> <p>③（主体的な態度）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・個人の役割を遂行することで、グループへ貢献できたか（授業参加度で評価する）</li></ul>
<p>(10) フィードバックの方法</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ミニグループワーク・プレゼンの際に、他の受講者からディスカッションのルーブリック表を用いて、フィードバックする。</li><li>・授業ごとのミニッツペーパーのフィードバックを次回授業時冒頭に行う。</li></ul>



<p>(11) 授業の注意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・グループワークを取り入れています。</li><li>・フィールドワークの際は、動きやすい服装をしてください。</li><li>・グループでの活動がありますので、メンバーへの迷惑がかからないように無断欠席・遅刻はしないようにしてください。欠席する際は、グループのメンバーにその旨をお伝えください。</li><li>・授業外で質問がある際は、〇〇へどうぞ。</li></ul>
<p>(12) 参考</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「関西大学SDGsの取り組み」 <a href="https://www.kansai-u.ac.jp/sdgs/">https://www.kansai-u.ac.jp/sdgs/</a></li><li>・「カードゲームSDGs2030で学ぶSDGs研修会」 <a href="https://www.kansai-u.ac.jp/sdgs/activities/detail/entry054634.html">https://www.kansai-u.ac.jp/sdgs/activities/detail/entry054634.html</a></li></ul> <p>その他、必要に応じて授業内で紹介します。</p>

